

令和5年9月5日
森林研究研修センター

報道関係 各位

令和5年度山形県スマート林業研修会の開催

林業現場では、慢性的な人手不足や高齢化、厳しい地形条件や人力による植栽作業、夏場の下刈り作業などに起因し、労働生産性の低さや労働災害発生率の高さといった問題が生じています。このような中、作業時間の短縮や高齢者・女性の就労支援、作業の軽労化につながる一助として※アシストスーツ（別紙参照）を着用した作業が全国的に普及してきています。

今回、林業経営体職員等を対象に、林業現場での作業の軽労化や生産性向上につなげるため、アシストスーツを着用した植栽、下刈体験の研修会を開催します。取材くださるようお願いいたします。

1 開催日時

令和5年9月13日（水）10時00分～14時30分

取材頂ける場合は10時00分まで、真室川中央公民館へお越しください。

2 会場

真室川町中央公民館（真室川町新町233-1）

現地研修：真室川県有林（車で移動します。約15分）

3 内容

- ・アシストスーツの概要
- ・アシストスーツを着用した下刈・植栽体験

4 参加者

県内の林業経営体職員、東北森林管理局・県・市町村職員

5 主催

最上地域スマート林業推進協議会



【問い合わせ先】

山形県森林研究研修センター

担当：森林経営指導部長 後藤 伸幸

TEL:0237-84-4301

FAX:0237-86-9377

※アシストスーツ

現場の荷物、重量物の持ち上げ・持ち下げの際にかかる、作業者の腰・身体的負担を軽減する目的で開発された商品で、女性・高齢者など多様な作業者の負担軽減に向けた現場環境の改善にも期待できます。

"腰"の悩みは社会的に大きな問題となっており、その為 腰を守るアシストスーツが注目されるようになってきています。

